

同志社よ、その名は一つの目的を意味する

# ONE PURPOSE

【同志社人訪問】 さらば青春の光 東ブクロさん・構成作家 渡辺佑欣さんに聞く

2024 Spring | Vol.212

巻頭企画1 [新学長インタビュー] 同志社大学 学長

こはら かつひろ  
小原 克博

巻頭企画2 [リーダーに訊く] 株式会社村田製作所  
代表取締役社長

なかじま のりお  
中島 規巨さん

人は、どうすれば幸福になれるのか？

Spring

同志社大学通信  
DOSHISHA UNIVERSITY

# 日本の伝統文化の伏流水。

## 赤煉瓦のキャンパスに、

VISION 2025

DOSHISHA UNIVERSITY

同志社は2025年、創立150周年

# 150年の歴史をたどる

## #4 伝統文化

## History of DOSHISHA

「温故知新」。未来への挑戦の指針

を学びとるべく、積み重ねてきた歴史をたどる。同志社は新島襄を中心に、幾多の困難を乗り越え、志を同じくする人々の祈りの中から誕生しました。「150年の歴史をたどる」第4回は、京都という地の利を生かし、連綿と受け継がれてきた伝統文化を紹介します。

### INDEX

- 02 150年の歴史をたどる #4 伝統文化
- 04 巻頭企画 1 新学長インタビュー「良心と志」  
小原 克博学長×榎 太一助教
- 08 巻頭企画 2 「リーダーに訊く」株式会社村田製作所  
代表取締役社長 中島 規巨さん
- 12 研究の最前線 文化情報学部 飯尾 尊優准教授
- 14 DOSHISHA DNA  
株式会社SCRAP代表取締役 加藤 隆生さん
- 16 予算編成方針／「同志社大学カード／同志社大学学生カード」会員募集／  
ALL DOSHISHA 募金
- 18 新任教員紹介
- 20 ゼミで学ぶ 魅力を語る
- 22 本学教員の執筆図書紹介
- 23 同志社バーチャルキャンパスプロジェクト D-verse
- 24 同志社校友会からのお知らせ
- 25 同志社人訪問 さらば青春の光 東プロロさん・構成作家 渡辺 佑欣さん
- 28 My Purpose 挑戦する人 小倉 紗奈さん(スポーツ健康科学部1年次生)

### お知らせ

「ONE PURPOSE」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。同志社大学の最新情報は随時ホームページでお知らせしております。ぜひご覧ください。 ▶ <https://www.doshisha.ac.jp/>

卒業生の住所変更、発送停止を希望される場合の連絡先は以下にお願いします。  
校友課 TEL: 075-251-3009 MAIL: [ji-koyu@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-koyu@mail.doshisha.ac.jp)

茶道部に大事に保管されている八重ゆかりの茶道具。



同志社のキャンパスといえば、赤煉瓦。とりわけ彰栄館、礼拝堂、有終館、ハリス理化学館、クラーク記念館の5棟は明治期に建てられ、「同志社らしい」風景を醸し出しています。キリスト教主義、自由主義、国際主義という理念ともあいまつて、その「西洋風」のイメージは、多くの方に共有されているのではないのでしょうか。

では、そのキャンパスにあつて、純和風の茶室建築がひっそりと佇んでいるのは、ご存じでしょうか。幕末、二条斎敬が関白になった際に、現在の同志社女子大学今出川キャンパスのあたりに新築された二条邸、その一角に設けられたのがこの茶室でした。1954年、女子大増築のために移築され、裏千家14代淡々斎宗匠によつて新島襄の漢詩「庭上一寒梅 笑侵風雪開 不爭又不力 自占百花魁」から「寒梅軒」と命名されました。クラーク記念館の北隣、一般の学生はあまり足を踏み入れないエリアですが、現在も同志社大学茶道部の稽古場として活用されています。「寒梅軒の至る所に歴史、先輩たちの思いが込められているのを感じます」と、茶道部現幹事長の高岡諒さん。落ち葉つなく掃き清められた露地や磨き上げられた床柱



などからは、彼らがこの茶室を大切に思い、守り続けていることが感得されます。日頃、茶道部の茶会に菓子を提供している和菓子のお舗・俵屋吉富の社長も、同志社の卒業生だそうです。

同志社と茶道の関わりは深く、新島襄の妻・八重は裏千家13代圓能齋に入門し、宗竹の茶名と各種許状を得ています。裏も八重も武家の子弟でした。日本的な伝統についての基礎的な教養は、若い頃にある程度は身につけていたと考えるのが自然でしょう。また、伝統文化の中心地である京都に高等教育の道を開いてきた同志社には、茶道のみならず華道や能・狂言をはじめとする伝統芸能や伝統工芸、仏教寺院などの後継者が、陸続と入学してきました。

同志社創立130周年にあたる2005年、能楽部OBによつて新作能「庭上梅」が制作・初演されました。茶室「寒梅軒」と同じく、裏の漢詩に取材した題名です。最晩年、病床にあった裏が夢幻のうちに苦難の体験と大学設立への大いなる志を語るもので、近代的な主題を古典的な能の骨法に昇華して好評を博しました。

キリスト教主義に立脚しながらも、その緩やかな宗教性のうちに多様な価値観を受け入れてきた、同志社150年の歴史。そこには、伏流水のように日本の伝統文化が受け継がれているようです。

「庭上梅」ポスター。能楽部OBらによる「紫謡会」が制作に取り組み、同会を指導する能楽師・観世流シテ方の井上裕久さん(79年文学部卒)が脚本を完成させた。



茶道部は同志社創立150年の時に創部89年を迎える。美しい作法や所作は、八重をルーツに先輩から後輩へ、受け継がれてきたものだ。

キャンパスの端にひっそりと佇む「寒梅軒」。約150年前に建てられ、維新の際には会津の松平容保や一橋慶喜など徳川方要人の密議の場となったと伝わっている。

# 「良心」概念を アップグレードして、 同志社を 深山大沢に。

## 「巻頭企画1」新学長インタビュー「良心と志」

今年、新たに学長に就任された神学部・小原克博教授のもとで、2025年、同志社は創立150周年を迎えます。小原学長が主導するネクスト「深山大沢」プロジェクトは、新島襄が晩年に「我が校をして深山大沢のごとくになし」と唱えたことを受け、この節目の時にあたって次代の同志社像を展望しようとする企画。同プロジェクトにも参加したハリス理化学研究所の榎太一助教が、新学長の「志」についてインタビューしました。

### ※深山大沢

中国古典『春秋左氏伝』の二節、「深山大沢、実生龍蛇」に基づく四字熟語。深山は深い山、大沢は大きな池。龍蛇は、龍のような立派な人物を指す。つまり「深山大沢」は、深い山や大きな池のような環境でこそ、龍のような立派な人物が生まれるというたとえ。新島襄はこれを大学の理想像とし、晩年の徳富猪一郎（蘇峰）宛の手紙にも「同志社は是非将来深山大沢になし度候間、貴兄も充分此之為に御工風御尽力被下度奉仰候」と記している。

### 榎太一

ハリス理化学研究所 助教

1981年、千葉県生まれ。東京大学大学院農学生命科学研究科を修了後、日本テレビに入社し、報道から情報番組、バラエティーまで幅広いジャンルでアナウンサー、キャスターを務める。2022年4月より現職。科学と社会をつなぐ学問分野「サイエンス・コミュニケーション」の研究・実践に取り組む。

楽しいことを、共同で。  
それが研究と教育のエネルギー。

榎 第35代同志社大学学長へのご就任、おめでとうございます。まずは今の率直なお気持ちを伺いたいと思います。やはり緊張されていますか。

小原 榎先生もご存じのように、私はヤンチャ坊主のような人間で、あまり緊張するタイプではありません。とはいえ、学長としての重責に身が引き締まる思いです。これまでも同志社のために尽くしたいという思いはあって、神学部長や良心学研究センター長として私なりに貢献してきた自負はありますが、これからは同志社大学全体を一体的なものとして盛り上げていきたいと考えています。

榎 私は2年前に同志社大学に着任してすぐに、小原先生が主導されているネクスト「深山大沢」プロジェクトに参加させていただきました。神学部の先生というところで、厳しい方なんだろうなあ、と先入観を持っていたのですが、全然違いました(笑)。ご自身でおっしゃるように、いい意味で、ヤンチャ坊主。最初にやったのが、VRゴーグルを使ったミーティングでした。

小原 新しい技術は、まずは体感してみなければ評価できないじゃないですか。榎先生は、髭面のワイルドな感じのイメージで登場されましたね。ああ、この人はスマートなシエントルマンだけれども、内面にはなにか荒々しいエネルギーをお持ちなんだろうな、と感じました。仮想現実の中でのコミュニケーションには、そんな発見もありますね。

榎 プロジェクトに参加された先生方も、文系理系を問わずまことに多士落々。小原先生の周りには、面白い方がたくさん集まっていますね。

小原 一緒に楽しいことをしたい、というのが私の基本なん

こはら かつひろ  
同志社大学 学長 小原 克博

1965年、大阪府生まれ。マインツ大学、ハイデルベルク大学に留学。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士(神学)。神学部教授。専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。国内外で研究活動を展開し、各種メディアを通じて発信するなど、幅広く活躍。2024年4月より第35代学長に就任。

です。この同志社で共に働き、共に学ぶ人たちが、面白いな、楽しいな、と感じること。研究にしても教育にしても、そこからエネルギーを汲み上げていくことで新しいものが生まれてくるのではないのでしょうか。私は主に今出川キャンパスを拠点にしてきたわけですが、京田辺キャンパスの先生方とお話をすると、やっぱり面白いのです。今こんな実験をしているんだとか、ここをブレイクスルーすればこんな展望が開けるんだとか、それはもう楽しそうにお話をされます。そういう知的な興奮は、こちらにも伝わってくるものです。

## 専門知から総合知へ

### 「良心」を対話のプラットフォームに

**榎** 人文社会系の研究者と理系の研究者が、今ある喫緊の社会課題に対して一緒に取り組んでいくことは、これからますます重要になってきます。私が所属するハリス理化学研究所でも学部横断的な研究に対する助成を出してはいるのですが、さて、それでは誰と協業したらいいのだろうか、誰が問題意識を共有してくれるのだろうか、という出だしのところで立ち止まってしまうことも多いのではないのでしょうか。

**小原** おっしゃる通りです。そこはやはり大学としてそういう対話の機会、プラットフォームを作る取り組みが欠かせません。学長としての私の仕事だと思います。今や同志社はおよそ3万人、14学部16研究科を擁する総合大学です。さまざまな分野の専門知を考究されている先生方が大勢いらっしゃる。これは紛れもなく同志社の財産です。しかし、私たちが直面する現代の社会課題には、二つの専門領域だけには収まらない複雑さがあります。たとえばクルマの自動運転は、コンピュータ制御やセンサなど、目覚ましい技術進化によって実現しつつありますが、事故が起こったときの責任は誰が取るのかという問題が未解決です。自賠責の保険料率はどうなるのか、裁判になったとき被告席には誰が座るのか。経済的、法律的、倫理的な問題が未整備なまま、自動運転は素晴らしい、とはならないですよ。生成AIや原発などの問題もそうです。技術は進んでいます。が、果たして人間の心は進化していると言えるでしょうか。**榎** 重要なご指摘だと思います。さまざまな専門知を架橋して総合知へと昇華していくことが、総合大学としての同志社には求められていて、そのベースになるのが

「良心」ということになるのでしょうか。

**小原** 同志社に長く暮らしていると、「良心」という言葉はしばしば目にもしますし耳にもします。これこそが同志社教育の根本、新島襄の精神である、というような……。榎先生も同志社にご着任になって、そう感じになっているのではないですか。でも、新島が良心という言葉を使う頻度は、実はそれほど高くなかった。晩年、ここぞというときは使っていますから、新島にとって重要な概念であることには違いないのですが、それだけに「良心」という言葉を発することには慎重だったのだと思います。

### 「共に知る」ことの共同体へ

**榎** 私たちが日常語として使っている「良心」とは違う含意があるんですね。

**小原** 良心という言葉は、CONSCIENCEの訳語として明治時代に登場しました。本来の語の成り立ちから言えば「共に知る」が原義ですが、明治の人々は「孟子」の中の「良心」を当てた。だからどこか儒教的な、既存の社会秩序に従うニュアンスがあったのです。新島はキリスト教と結びついたCONSCIENCEを大事にしていたので、儒教由来の「良心」を使うことにはためらいがあったのだと思います。さて、それでは誰と「共に知る」のか。一つは、内なる他者

(自己)と共に知る。自分の内面の声を聞く「個人的良心」です。二つ目は、外部の他者(第三者)と



共に知る。社会を構成するさまざまな人と課題を共有し、合意を形成しようとする「社会的良心」です。そして三つ目、超越的他者と共に知る。これは端的に「信仰的良心」と言っているでしょう。深く内面化された良心は、時に社会通念に対する挑戦ともなり得ます。たとえば良心的兵役拒否などにもつながるラディカルさを秘めているのです。

**榎** なるほど。良心の三つのレベルをご教示いただきました。私はそこに「地球と共に知る」というカテゴリーを加えてみたいと思うのですが、いかがでしょうか。

**小原** おもしろい着眼点だと思います。地球、あるいは自然は、人間が働きかける対象だというのが、伝統的な人間中心の考え方でした。「地球と共に知る」は、その中心点をずらして、地球の側に立った発想を可能にするかもしれません。私の願いは、皆さんのいろんな知見やアイデアを持ち寄って「良心」概念をアップデートし、現代の、あるいは未来の学術を開いていく学問的、分析的ツールとして鍛え上げていくことです。榎先生の着眼点を、さらに深めていただきたいと思います。

**榎** 恐縮です。それについても思うのは、同志社の歴史の深みです。創立者の言葉が今も生きていて、今、それが再解釈されて新たな輝きを放とうとしている。来年は創立150周年ですね。小原先生は、学長としてこの記念すべき瞬間に立ちあわれるわけです。

**小原** これは巡り合わせというか、この時期に学長をやりたいと言って、やらせてもらえるわけではありません。でも、せっかくだいだいた機会ですので、学生や教職員、卒業生の皆さんも含めて、世代を超えて、オール同志社で良心、「共に知る」ことの共同体を再興していきたいと考えています。



## 次代の「深山大沢」へ キャンパスの向こうに見える風景

**榎** 先生は「同志社ルネサンス」ということをおっしゃっています。

**小原** 私学・同志社が、どんな学校として始まったのか。どんな願いを託されてきたのか。それをもう一度みんなで共有すること、他の大学にはない同志社独自の価値を打ち出すことができると思うのです。こういう研究が今はトレンドだからそれをやるとか、量的な比較の中で留学生の数を増やしましょうとか、そういうところだけで一喜一憂している

と、他の大学と同じになってしまいますよね。同志社には、他の大学がやろうとしてもできない独自の価値がある。新島の言葉もそうですし、このキャンパスそのものもそうです。  
**榎** そういう意味ではこの同志社礼拝堂で対談をお願いして本当によかった（笑）。

**小原** いや、本当に。この同志社礼拝堂や隣の彰栄館、さらにハリス理化学館、クラーク記念館、有終館と、重要文化財だけでも5棟もあります。ただ残念なことに、多くの学生は特に用事もないので、足を踏み入れることもなく卒業してしまうのです。

**榎** それはもったいない！ みんなでキャンパスを探検しましょう。

**小原** 同志社の歴史を知った上でキャンパスを歩くと、また違った風景が見えてくると思うのです。新島は晩年、「我が校をして深山大沢のごとくになし、小魚も生長せしめ、大魚も自在に発育せしめ「深山大沢、龍蛇を生ず」など、もう会う人ごとに「深山大沢」をキーワードのように語っています。今のキャンパスの風景の向こうに、次代の「深山大沢」を見たい。一緒に見ませんか、というのが、榎先生にもご参加いただいたネクスト「深山大沢」プロジェクトの心でした。

**榎** 最後に、先生の座右の銘を教えてください。

**小原** 倜儻不羈<sup>ていとうぼうき</sup>。新島襄の遺言に「同志社ニ於てハ倜儻不羈なる書生ヲ圧束せず」とあります。倜儻不羈とは、才能に優れ、常識や規則にとらわれないこと。信念と独立心を持ち、逆風を恐れず行動すること。新島自身が倜儻不羈な人物でしたし、私自身もそうありたいと思います。学長になったら急におとなしくならはった、とは言いたくないので…。

**榎** 先生がご自身のことを「ヤンチャ坊主」とおっしゃった理由がわかったような気がします。本日はどうもありがとうございました。



村田製作所は、スマートフォンや自動車などに使われる極小の電子部品で世界トップシェアを多数持つリーディングカンパニーだ。独自性を貫く経営戦略と、それを可能にする多彩な人材の育成で、エレクトロニクス業界の発展を支えている。

## 顧客と従業員の満足が最上位の価値

村田製作所の主力製品は、電気を蓄えたり放出したりする電子部品「積層セラミックコンデンサー」だ。電圧の制御に不可欠な部品であり、現在、スマートフォンには1台当たり約1,000個、電気自動車には同じく約1万個のコンデンサーが使われている。厚さ1000分の1以下のシートを何百層も重ねる独自技術により、世界市場のシェアは4割を占める。中島さん自身、1990年代に携帯電話の小型化を可能にした部品「スイッチプレクサ」を開発し、携帯電話向け部品を主力に育てた。「当社は製品の企画、開発から生産までを自社で完結する『垂直統合型』の経営にこだわっています。独自の技術を磨き、短い期間で製品化できるので、他社の製品を調達して

# 人と社会が豊かであるために

心も身体も社会的にも“満たされた状態”、実感としての幸せ・心の豊かさを表す言葉「ウェルビーイング」は、SDGsに次ぐキーワードとして注目を集めています。2025年大阪・関西万博のテーマの一つであり、個人の生き方や働き方、より良い未来社会のあり方を考える上で今後ますます浸透していくことが予想されます。様々な形で「ウェルビーイング」の実践に向き合うOB・OG、本学教員を紹介します。

株式会社村田製作所 代表取締役社長

なかしま のりお  
中島 規巨さん

1985年、同志社大学工学部を卒業、株式会社村田製作所に入社。技術畑を歩み、フランスでの海外赴任も経験する。モジュール事業本部本部長、代表取締役専務執行役員を経て2020年6月に創業家以外で初めて社長に就任。中学、高校、実業団でハンドボール部に所属したスポーツマン。大学時代は、居酒屋、パブ、中学生向けの進学塾など様々なアルバイトを経験した。「『いろんな人がおるんやなあ』という経験が、多様な人を受け入れる適応力につながっているのだと思います」

モノを作る「水平分業型」の多い海外の企業に対抗していく強みだと考えています」

「Innovator in Electronics(エレクトロニクスの改革者)」を標榜し、文化の発展に貢献することを社是とする同社が、CS(顧客満足度)と共に最上位の価値観に位置付けているのが、ES(従業員満足度)だ。仕事を通じて従業員一人ひとりがやりがいを感じ、成長し続けること。それが顧客に認められる価値を創造し続ける源泉であると捉え、仕事への熱意や会社への愛着を示す「従業員エンゲージメント」を向上させるための取り組みに力を入れている。国内外全拠点到約7万人いる全従業員を対象にした調査、経営層と従業員の対話促進、ワークライフバランスの実現に向けたテレワークやフレックス勤務制度の充実などだ。中でも今、特に力を入れているのが「多様性の推進」。国内での女性管理職比率と、海外拠点で働く従業員のうち他地域での勤務経験者の割合を2030年に、いずれも10%にする数値目標を掲げている。

「昨年は、米国会社社のCEO(最高経営責任者)を本社の執行役員に迎えました。経営会議などでは英語でコミュニケーションをとることが増え、意思決定の効率は正直なところ、やや下がっています。けれども、それでいいんです。同じバックグラウンドを持った人間だけで議論していると、お互いに察し合うという状況が普通になってしまふ。それではイノベーション(技術革新)は生まれません。違う視点、異なる意見をぶつけ合い、説明する文化を醸成するきっかけをつくりたいのです」と力を込める。



## 異なる発想を大切にする企業風土に

背景にあるのは、デジタル化の進展によるエレクトロニクス産業の顧客の変化だ。「我々は通信市場にプレゼンスを持っていますが、(高速・大容量の通信規格)『5G』はスマートフォンだけでなく、今後は車の自動運転や遠隔診療、工場の自動制御などにも使われていきます。スマートフォン設計者ならば、これまで通り電子部品を提供すればいい。しかし、医師や工場の設備担当者には、課題解決に直結するようなソリューションも併せて提供しなければいけません。二つの部品を作り上げるためにチームが同じ方向を向いて効率よく進む『一体感』も必要ですが、新たなビジネスモデルに対応して成長を遂げるためには、違う発想を大事にして議論を尽くす必要もあるのです」

その手法として、ワークショップを積極的に開催し、「意識づけはできつつある」と手ごたえを感じている。一方で、「単に自説を主張するというのではなく、バランスが大事だ」と中島さんは強調する。「異なる発想は大事ですが、独りよがりであつてはいけません。他の人が何をしているのか気を配りながら、自立性を持つことが大事です」従業員満足度に関して、特に欧米では会社への帰属意識よりも個人のキャリアアップが優先されていることも承知だ。それでも、企業哲学への理解を深めてもらえば、組織への帰属意識、一体感を保ちながら個人のステップアップやウェルビーイングの実現にもつながると確信している。

「海外の拠点では、現場ごとに社是を毎日唱和し、その意味するところを自分はどう捉えるか、どういう行動がとれるのかを問いかけるワークショップをしています」



す。欧米のメンバーも、中心に据えているのは自分のキャリアアカもしれませんが、社是に基づく我々のフィロソフィー(哲学)は十分理解してくれていますし、そこへの信頼、愛着は結構強いんですよ」と自信をのぞかせる。

## 未来社会の幸せを技術力で支えたい

従業員のモチベーションを高めることで生産性を上げ、競争力を強化する。加えて、持続可能な経済発展が求められる現代では、様々な社会課題の解決に対する貢献も、企業価値を測る上で大きなウエートを占めるようになった。

気候変動問題への取り組みとして、中島さんは社長に就任した2020年、事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることを目指す企業で構成する「RE100」に加盟した。「2050年までの達成を目指す取り組みですが、福井県の金津村田製作所では、既に太陽光発電システムと蓄電装置の開発などで100%を達成しました。全社的に継続可能な取り組みとするために、そこで蓄積したデータや生産した装置を検証して、次の事業成長につなげていこうと考えています」

2030年を目標とする長期構想で、村田製作所は基盤領域の「通信」「モビリティ」に加え、「環境」「ウェルネス」領域への挑戦を掲げる。ウェルネス領域では、数値化しにくい「ストレス度」の見える化を既に実現している。心拍と脈拍をセンサーで測定し、クラウドサーバーでデータを解析、モバイル端末にフィードバックして判

定結果をディスプレイに表示させる仕組みだ。2025年大阪・関西万博で協賛する宮田裕章テーマ事業プロデューサーのシグネチャーパビリオン「Co・be ing」では、こうした技術の一端が披露される見込みだ。パビリオンのコンセプトは「データ共鳴社会の具体的な実践と、未来につながる有用なレガシーを残す」。中島さんは「AI(人工知能)がキーテクノロジーとなる2030年、40年にかけて、当社が貢献できる分野は通信だけにとどまりません。利便性が上がり、それが幸せにつながる。そんな技術をムラタが支えるのだ」ということをお見せできればと思っています」と語る。

## 「いろんな人、考えに接して」

同志社大学工学部時代は、原正ゼミで学んだ。大学紛争当時、ただ一人青空講義を続け、後に学長に就任した人物だ。「ドイツ語や英語の本をぼんと渡して「ここにこういうこと書いてあるから、いろいろ新しい実験で発見してみい」ですよ。おかげで受け身でなく自分で考えるという姿勢が身につきました」と笑う。全国から集まってくる「いろんなやつ」と友達になり、下宿先を泊まり歩いたことも、かけがえない思い出だ。

「最近では自分のキャリアをしっかりと考えている若者が増え、それはいいことなのですが、独りよがりなことも多いと感じます。いろんな人、いろんな考えに学生の間で接してほしい。同志社はそれができると思っていますし、そういう場を、大学には広げてほしいなと思っています」





研究の  
Forefront of research  
最前線

# 人とロボットが織りなす 「良心あふれる世界の実現」を 夢見て

文化情報学部 いお たかまさ 飯尾 尊優 准教授

2012年同志社大学大学院工学研究科博士課程情報工学専攻修了。博士(工学)。株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)知能ロボティクス研究所研究員、大阪大学大学院基礎工学研究科助教、筑波大学システム情報系助教などを経て、2021年から現職。ロボットによる「褒め」が人間の技能向上に寄与することなどを明らかにしてきた。「ロボットはあくまで道具として見ているので名前はつけませんが、人に対するようにしゃべってしまうことは、たまにあります(笑)」

## ロボットⅡ人間の研究

工場で単純作業をしたり、家庭では掃除をしたりペット代わりになったり、様々なシーンでロボットを見かけるようになったが、飯尾准教授が研究する「ソーシャルロボット」は、それらとは一味違うらしい。

「人と社会的に関わり、インタラクティブ(相互作用)することがソーシャルロボットの目的。人の振る舞いに学び、自然なコミュニケーションがとれるようデザインすることが大事です」

例えば会話の中で「昨日読んでいた本、どこにあったっけ?」と聞かれれば、人は普通「あそこにありますよ」というように答え、気の利いた人なら「取ってきましょうか?」と続ける。「質問に答える」というタスクの遂行だけを考えるロボットでは、到底できない受け答えだ。

「生成AIの発展が目覚ましいとは言え、ネット上のテキストデータを基に構築されている限り、そのままロボットに搭載しても『取ってきましょうか?』とまでは言えません。人がどのように考え、行動しているかを実空間で観察し、データを集めて分析、実装して初めて自然な関わり方ができるようになる。その意味でロボットの研究は、人間を研究することでもあるんです」と飯尾准教授は語る。

## 高齢者と対話 幸せをデザイン

工学者として常に念頭にあるのは、人間の幸福に資するものづくりだ。「ロボットは人や社会の役に立つことで人を幸せにするために生まれてきた存在だと思っています。特にソーシャルロボットの場合、関わる人が真に幸福になるのかまで考えなければならぬ。倫理や哲学といった人知を踏まえたデザインが非常に重要なんです。この分野を学ぼうとする学生には、人と社会のことをよく学び、ロボットをどう活用すればより良い社会になるのかということに思いを巡らせてほしい。そうすればきっと、人間と共存できるいいロボットシステムをデザインできるでしょう」

飯尾准教授が取り組む「高齢者の発話を促す会話ロボットシステム」は、その一つだ。多忙な施設職員に代わり、子ども型ロボットが話し相手となって高齢者の発話を引き



人のように身振り手振りを使った“対話”ができるコミュニケーションロボット「Sota(ソータ)」。研究室で30体が活躍の機会を待つ。

出すことで、認知機能の向上をサポートできればと期待を寄せる。

「高齢者の言葉を正しく聞き取るのは難しいので、実験では『遠くまで行ったことある?』『子どもの頃どんな遊びをしていた?』など、質問を重ねる手法をとりました。発話があれば質問に対する返答と判断し、ロボット自身もその質問に対し『僕は遠くへ行ったことがないから、行ってみていなあ』などとコメントする。発話内容を理解できなくても、大きな違和感なく対話をつなぐことができます。実際、聞き取りミスの割合が76%もありながら、平均14分、重度の認知症の人とも10分以上、会話を継続することができました。社会的に振る舞えるロボットは、将来的に人間と一緒に福祉や教育に携わり、精神面のサポートもできるようにしましょう」と笑顔で話す。

## 他者への貢献つながりを創出

翻って学内を見た時、同じ場所にいなからスマホばかり見て交流しようとしない学生たちの姿に、少し寂しさを感じている。「ウェルビーイングに大事なものは、自分が他者に貢献できているとか、他者とこんなことができたということを実感できる物理的つながりです。閉じたサイバー空間ではなく、人と同じ空間にいるロボットならではの存在感で、それをダイレクトに促したい」。例えばロボットを2台置いて対話させ、近寄ってきた学生にいきなり話を振る。あるいは通りかかった学生を呼び寄せる。そうやって少々強引にでも、学生同士の会話をつないでくれるようなロボットを作りたいのだという。「匿名性ゆえに罵詈雑言が飛び交い

がちなネット空間と違い、自分の周りにいるのは結構いい人たちだな、こういう人とつながれる同志社にいられてよかった、そういうことに気づかせてあげられるロボットを生み出したいですね」

あふれかえる情報の中で取捨選択を迫られたとき、ネット上の言動に感わされず、良心に従ってより良い選択ができるように。人と人の間に存在し、全体の緩やかな信頼を育むロボットを作りたいと話す飯尾准教授。目指すのは、「ロボットを通じた良心あふれる世界の実現」だ。



「『ロボットに心は生まれるか?』と問われれば、私の答えは『生まれる』です。ただそれはロボット単体にはなく、人とロボットのインタラクションを通じて生まれるという理解です。一緒に対話した経験が人間の記憶に残り、『きっとこのロボットには心があった』と信じられる、そういう話だと思います」



【ビジネスパーソン】

## ウェルビーイングな 物語体験を

謎を解きながら閉じ込められた空間から脱出する「リアル脱出ゲーム」は海外でも評判となり、世代を超えて人気は衰えない。その理由についてゲームを発売した加藤隆生さんは、「こころ」と「体」と「人とのつながり」の三つが満たされた状態であるウェルビーイングの要素が、ゲームの中にあるからだという。

物語が現実になった時、  
こころは快樂に満たされる

加藤さんが設立したイベント企画運営会社「SCRAP」がこれまで制作した作品は約450タイトル、参加者は累計で約1,090万人にも上る。どのゲームにも共通するコンセプトは「物語に入る」こと。つまり、ありそうだが現実にはありえない世界で、自分が主人公になって謎解きをすることだ。そんなゲームは、加藤さんが始める以前にはなかった。

加藤さんは卒業後、印刷会社に就職したが1年半で退社。その後、バンドを組んでライブ活動を行っていた。ある日、バンドをPRするフリーペーパーの編集会議でのこと。一人のスタッフが「ネットの脱出ゲームで徹夜しちゃいました」と言った。じゃあ、それをリアルでやってみたら面白いのでは、とイベントにしてみたところ、会場は熱狂と言えるほどの興奮に包まれた。

本棚の怪しげな本を開くと中から鍵が出てくる。壁に貼つてある不思議な模様は必ずヒントになる。鍵がかかった箱は謎が解けたら開く。どれも、ウエブの脱出ゲームでやった通りのこと。なのに、それが現実になったら日常では体験したことのない高揚感が生まれた。「テレビやウエブで見て、きつとこうだと思ったことが当たっていた時、僕らが想像していた以上のことが起きたんです。デジタルがリアルになるって、こんなすごいことなんだと思った。僕も見て興奮しました」。加藤さんは、これを「物語が具現化することの喜び」と表現する。

仲間と協力し、悔しさも

分かち合うから前向きになれる

ゲームには、もう一つ、興奮を生む大事な要素が含まれて

株式会社SCRAP  
代表取締役

かとう たかお  
加藤 隆生さん

1974年岐阜県生まれ。1997年に文学部心理学科を卒業し、京都市内の印刷会社に就職。編集や営業の仕事を経験し、退社後はバンドを結成して活動、メジャーデビューも果たした。2007年7月に京都市内で行った「リアル脱出ゲーム」が注目を集め、2008年6月、イベント企画運営会社「SCRAP」を設立した。音楽活動は今も続けている。



いる。仲間と協力する喜びだ。

例えば、「僕はこれを読み解きます、あなたはこれを調べてください、あなたはあれを見て来てください」と手分けして、それらの結果が合わさって箱が開く。その時の達成感、想像を超えたものだという。「無償の協力といえはいいの。皆さんが経験したものでいえば部活でしょうか。1円ももらえないのに早朝からバットを振り、後輩がトスを上げ、チーム一丸となって何かを成し遂げる。その部活の喜びがエンターテインメントで再現されるんです」

最近では、参加者同士が戦ったり、参加者の中から犯人を見つけ出したりするゲームも人気だ。だが、リアル脱出ゲームは、全員が協力してひとつのものに向かっていくというコンセプトを一貫して変えていない。

ゲームでは、当然、制限時間内に脱出できない人も出てくる。しかし、がっかり落ち込むというより、不思議と「今度こそ」と再挑戦したくなる。「周りに勝った人が多いと恥ずかしいから、もう来ない。でも成功率を低く設定すると、負けても恥ずかしくないし、もう一回やりたくなる。悔しさは、強いモチベー



ションにつながる。それはビジネスの世界でも同じでしょう」

ただ、リアル脱出ゲームが違うのは、悔しさを共有できる人が隣にいることだ。「お互いに話しているうちに、必ず「次こそ」とポジティブな方向に気持ちがいく。普段の会話でもそう。落ち込んだ人同士であつても話をした方がいいと思いますよ」

「人とのつながり」は、思わぬ興奮を生むと同時に、気持ちを前向きにしてくれる。

## リアルの世界と物語体験を提供し続けていく

一方、作る側からしても、リアルなゲームにはデジタルにはない良さがある。「参加者が喜んでるのが目の前で見える。ワッツて喜び、最後は拍手をしてくれる。すごい達成感があるんです。やめられなくなる」

だが、コロナ禍を経て、リアルとデジタルの融合の可能性についても考え始めている。「コロナでイベントができなくなり、大打撃を受けた。生き延びるためにデジタルゲームをたくさん作ったが、今後、その技術をどう生かしていくかを考えるくちやいけない」。もちろん、リアルの世界と物語体験を大事にするのは変わらない。「自分の生活するこの世界につながる場所に、自分が主人公になれる物語があると発信し続けること」が使命だと思っている。

## 楽しいと思ったことを心のノートに書き留めておく

加藤さんは最近、就職を希望する学生と話していて、「随分、焦っているな」と感じる人が多いという。「無駄なこと」



に対しても嫌悪感が強い。そんな焦らなくてもいいと思えますけどね」

学生時代は軽音楽サークルに入り、大学に行つても昼寝して帰るような生活を送っていた。何者でもなく、何か特別に目指すものもなかった。「あの日々が大切だったとまでは言わないけど、何かを無理につかみに行かなくてもいい。今日はこのゲームをやるうとか、何もしないで寝てようとか、伸び伸びと自分がやりたいことをやる。その蓄積のなかで、本当に面白いものや必要なものに出合えると信じた方がいい。大切なものは向こうからやってくる、と僕は思っています」

ただ、自分を高める方法は、自分にしか分らないことを忘れてはいけない。そのうえで楽しめばいいのだと、加藤さんは学生にアドバイスする。

「利害関係のない友人たちと楽しさを追求するって、本当に尊い時間。自分が楽しいと思うことは何なのか、誰といると楽しいのか、楽しい時にはどんな気持ちになるのか。学生時代は、そんな情報を少しでも多く集めておくタイミングです。カケラでもいいからたくさん集めて、ちゃんと心のノートに書き留めておく。それが、いまできる一番重要なことじゃないかなと思いますね」



2024 April

# 2024年度予算編成方針について

2024年度予算編成方針は、法人の予算編成方針に基づき、2023年10月5日の大学予算委員会および大学評議会で審議のうえ決定されました。

この方針に基づき予算編成を行い、一層の教育研究環境の維持・充実を進めてまいります。なお、予算の詳細については次号に掲載予定です。

世界規模での人的交流・移動が加速する中、学位の国際通用性の観点等から、とりわけ「出口における質保証」の重要度が増している。高等教育の質保証システムの改善・充実を図るためには、教育管理システムの体制を確立した上で、学修者本位の大学教育を進展させる、たゆまぬ努力が求められている。本学においても、「出口における質保証」の充実・強化に向けて、連続と受け継いできた創立者の不変の「志」を今度見つめ直し、時代背景に適應した同志社教育の新たなかたちを示していく必要がある。複雑で不透明な時代の中、一人ひとりの個性を尊重する多様性と寛容に満ちたキャンパスで、新たな創造へと導く力を持つ時代の魁となる人物を輩出するため、私立大学の過半数が定員割れする厳しい状況下でも安定的に入学者を確保し、学修者本位の教育を実現することへの期待に応え続けなければならない。

学校法人同志社では、日本私立大学連盟が定める「私立大学ガバナンス・コード」を採用している。法人運営を進める上で重要となる学校法人同志社の中期的な事業計画の主軸は、「同志社大学ビジョン2025ー躍動する同志社大学ー」（以下「ビジョン」という）及びその中期行動計画

である。2025年に創立150周年を迎えるにあたり、これまでの成果や進捗状況を踏まえて「ビジョン」・中期行動計画に基づく年度ごとの重点課題遂行のため、同志社創立150周年記念事業（大学事業）への取り組みも含めて、本年度の予算編成を進める必要がある。

学術面では、新学年暦の下での新たな学びが早期に定着し、学修成果に繋がるよう、この間積み重ねてきたハード面・ソフト面双方の環境の更なる充実を図る。また、同志社データサイエンス・AI教育プログラム（DDASH）等を通じて文理横断・文理融合教育を推進する。国際連携推進の面では、グローバル教育センターと日本語日本文文化教育センターの再編により国際教養教育院を充実化し、グローバル人材育成に係る教育・学習環境のより一層の充実を図る。さらに研究面では、地域の中核となり、特定の研究分野に強みを持つ大学としての機能を意識し、研究推進体制の再整備を進める。

学生支援の面では、国の高等教育の修学支援新制度の更なる充実の状況を踏まえ、本学としての奨学事業の着実な実施体制を強化する。大学運営の面では、ダイバーシティの推進及び環境

活動の推進を重点課題と位置づけ、さらにこれらをクローズアップする広報活動の展開等により、持続可能な社会の実現に貢献すると共に、ICTの活用による事務の効率化を進める。教育研究環境の面では、今出川校地新図書館（建設工事）、京田辺キャンパスリニューアル（建設等工事）及びスポーツ・コンプレックス（建設等工事）等の大規模建設事業を計画的に進める。さらに、中・長期的な本学の発展を見据え、教育研究環境整備のための第2号基本金、及び奨学事業充実のための第3号基本金の組入れ、並びに情報基盤整備に係る準備金の繰入を計画的に進める。

収入面では、学生生徒等納付金について、学部では本年度を含む過去4年間の推移も見ながら、入学定員通りの入学者数を見込み、安定的な財源を確保する。また、入学志願者の安定的確保や補助金、寄付金、受託事業収入など外部資金の増収について、引き続き積極的に取り組んでいく。

支出面では、人件費は新規採用を含む所要額を計上するが、業務の点検、見直し等を行い、人材派遣や業務委託に係る経費も含めた、いわゆる総人件費は原則として前年度予算の範囲内と

する。また、物件費については、重点事業項目を含め、全体として抑制を図る。さらに、教育研究費については、これに係る積算基準を改定し、全学的な教育・研究の更なる充実のための事業に係る予算を計上するほか、繰越予算については具体的な事業実施計画に基づく効果的な執行を推進する。

なお、ビジョンに係る中期行動計画で目標に掲げている収支均衡予算編成を実現し、経常勘定の繰越収支差額が支出超過に陥ることのないよう、学費支弁者の負担だけでなく、既存事業の見直し等を通じた支出抑制により、教育研究環境の維持・充実に取り組むための財源を確保する必要がある。については、節減が困難な経費が想定されるが、経常的経費に係る支出抑制策を継続するとともに、過年度の予算執行状況を精査し、予算の効率的活用を検証の上、予算を編成する。また、施設設備の整備では、建設費高騰の情勢に留意の上、大規模建設事業については、中・長期的な施設設備整備計画に基づき予算を計上する。その他既存の施設設備の整備については、安全管理面において緊急性の高い事業を最優先としつつ、キャンパスの快適性にも配慮の上事業を厳選し予算を計上する。

以上の方針のもと、予算における計画性を重視し、安定的な収入確保のための定員通りの入学者数確保と限られた財源を効率的に配分することを大原則として2024年度予算を編成する。

財務部 経理課

同志社大学では、学生や卒業生・教職員など本学にかかわる方々の愛校心に応え、同志社大学ブランドの象徴となる「同志社大学カード／同志社大学学生カード」の会員を募集しています。

〈カード概要〉

名称	同志社大学学生カード	同志社大学カード	
対象	在学学生 (同志社生活協同組合員である正規学生)	卒業生及び専任教職員	
種類	学生	クラシック	ゴールド
デザイン			
年会費	在学中無料	1,250円+税	10,000円+税

両カードは、本学が三井住友カード株式会社と連携して発行する本学公式のクレジットカードです。

同志社大学カードは、ご利用頂いた金額に応じて、手数料が三井住友カード株式会社から本学に還元されます。本学では、この手数料全額を在学学生への奨学金として活用いたします(カード会員の皆様に手数料をご負担頂くことはありません)。卒業後も末長く母校とつながり続ける証として、また在学学生を温かく支援するツールとして活用頂けるよう、今後もカードサービスを充実して参ります。

同志社大学学生カードは、利用可能枠を低く抑え、旅行傷害保険やお買物安心保険のサービス機能も付いています。留学や海外旅行をはじめ、キャンパスライフの頼もしい味方として安心してご利用頂けるカードです。

両カードの詳細やお申し込み方法は、右記のHPでご確認ください。

「同志社大学カード／同志社大学学生カード」の  
会員を募集しています！

同志社大学  
カード／  
同志社大学  
学生カードHP



<https://www.doshishacard.jp/>

「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」では、創立150周年に向けた中長期ビジョンの推進の他、経常的な取り組みである学生への奨学金給付や課外活動支援、施設設備整備に関する募集を行っています。

学生が充実した生活を送れるように、そして学びを諦めることのないように、皆様からのご理解と温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

❧ 創立150周年を機会に、大学に氏名を残しませんか？ ❧

募集期間内の累計で10万円以上のご寄付を賜りました場合、今出川キャンパス内に設置した寄付者銘板へ氏名を刻んだプレート掲げています。一度に高額なご寄付ではなくても、継続的にご寄付いただき10万円に到達された方もたくさんいらっしゃいます。大学に氏名を残せる機会です。ぜひご検討ください。



良心館1階の北側入口前に設置した「寄付者銘板」

ALL DOSHISHA 募金サイト  
からお申込みをお願いします。

右の二次元コードまたは

🔍 ALL DOSHISHA 募金 で 検索



- ※クレジットカード・銀行振込等の方法でお申込みいただけます
- ※寄付者銘板への掲示やオリジナルグッズの贈呈等、各種顕彰をご準備しています
- ※確定申告を行うことで約40%～50%の寄付金控除を受けることができます

お問い合わせ先

同志社大学 学長室 募金課 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
TEL:075-251-3230 FAX:075-251-3097 Email:ji-bokin@mail.doshisha.ac.jp

同志社大学 2025  
ALL DOSHISHA 募金  
同志社大学は募金事業を通じて  
学生への支援を充実させています



2024 April

# 新任教員紹介

この春に、新しく赴任された先生方を紹介します。  
数字はそれぞれ①所属 ②職名 ③主な担当科目を示しています。



**吉田 朋子**  
(ヨシダ トモコ)  
①文学部  
②教授  
③西洋美術史概説(1)



**鍛冶 宏介**  
(カジ コウスケ)  
①文学部  
②教授  
③日本地域史研究(1)



**三輪 地塩**  
(ミワ チシオ)  
①神学部  
②准教授  
③日本キリスト教史1



**黒柳 志仁**  
(クロヤナギ ユキヒト)  
①神学部  
②准教授  
③旧約聖書学入門1



**梶谷 真也**  
(カジタニ シンヤ)  
①社会学部  
②教授  
③産業調査実習I・II



**汪 文磊**  
(オウ ブンライ)  
①文学研究科  
②助手



**MCGUIRE, Michael Paul**  
(マクガイア マイケル ポール)  
①文学部  
②准教授  
③留学ワークショップ(1)



**川口 朋子**  
(カワグチ トモコ)  
①文学部  
②准教授  
③文化史基礎演習(1)



**松岡 千紘**  
(マツオカ チヒロ)  
①法学部  
②助教  
③リーガル・リサーチ



**森下 明子**  
(モリシタ アキコ)  
①法学部  
②准教授  
③国際開発協力論



**金 汝卿**  
(キム ヨギョン)  
①社会学研究科  
②助手



**崔 紗華**  
(チェ サファ)  
①社会学部  
②准教授  
③市民教育文化論(1)(2)



**太田 直希**  
(オオタ ナオキ)  
①経済学部  
②助教  
③基礎演習



**井原 悠至**  
(イハラ ユウジ)  
①経済学部  
②助教  
③基礎演習



**大谷 実**  
(オオタニ ミノル)  
①経済学部  
②准教授  
③世界経済史1



**中筋 智規**  
(ナカスジ トモキ)  
①法学部  
②助教  
③会社法I



**Evgeny KISELEV**  
(エフゲーニ キセリョフ)  
①商学部  
②助教  
③国際商務ルール論



**相川 雄哉**  
(アイカワ ユウヤ)  
①商学部  
②助教  
③基本統計学



**中岡 孝剛**  
(ナカオカ タカヨシ)  
①商学部  
②准教授  
③経済学



**大垣 昌夫**  
(オオガキ マサオ)  
①経済学部  
②特別客員教授  
③行動経済学



**李 翔宇**  
(リ ショウウ)  
①経済学部  
②助教  
③基礎演習



**朱 浩良**  
(シュ コウリョウ)  
①商学部  
②助教  
③国際経済学



**柴田 喜悠**  
(シバタ ヨシハル)  
①商学部  
②助教  
③ビジネス・トピックス



**木村 多嘉子**  
(キムラ タカコ)  
①商学部  
②助教  
③ビジネス・トピックス



**銀 迪**  
(ギン テキ)  
①商学部  
②助教  
③ビジネス・トピックス



**藤岡 裕大**  
(フジノオカ ヒロタカ)  
①商学部  
②助教  
③ビジネス・トピックス



**狩野 裕**  
(カノ ユタカ)  
①文化情報学部  
②特別客員教授  
③統計学入門



**柳 輝佳**  
(リュウ ヒロキ)  
①文化情報学部  
②助手



**井本 桂右**  
(イモト ケイスケ)  
①文化情報学部  
②准教授  
③機械学習



**中原 慧**  
(ナカハラ アキラ)  
①政策学部  
②助教  
③政策学入門



**安達 晃史**  
(アダチ コウジ)  
①政策学部  
②准教授  
③地域政策



**吉川 治周**  
(ヨシカワ ハルノリ)  
①理工学部  
②教授  
③プラズマ工学



**塩沢 裕一**  
(シオザワ ユウイチ)  
①理工学部  
②教授  
③解析学I



**大平 昌敬**  
(オオヒラ マサタカ)  
①理工学部  
②教授  
③電磁波論



**小島 秀和**  
(コバタケ ヒデカス)  
①理工学部  
②教授  
③物理学II



**平田 健太郎**  
(ヒラタ ケンタロウ)  
①理工学部  
②教授  
③電気回路学II



**谷岡 健資**  
(タニオカ ケンスケ)

- ①生命医科学部
- ②准教授
- ③基礎数理統計学



**高柳 真司**  
(タカヤナギ シンジ)

- ①生命医科学部
- ②准教授
- ③エレクトロニクスI-II



**藤田 倫弘**  
(フジタ トモヒロ)

- ①理工学部
- ②助教
- ③情報工学実験II



**中川 正夫**  
(ナカガワ マサオ)

- ①理工学部
- ②准教授
- ③制御工学・同演習



**伊藤 公一**  
(イトウ コウイチ)

- ①理工学部
- ②准教授
- ③動物行動学



**岡崎 享恭**  
(オカザキ タカユキ)

- ①グローバル・コミュニケーション学部
- ②准教授
- ③Intercultural Communication



**鈴木田 英里**  
(スズキダ エリ)

- ①心理学部
- ②助教
- ③心理的アセスメント



**元村 有希子**  
(モトムラ ユキコ)

- ①生命医科学部
- ②特別客員教授
- ③サイエンスライティング



**中村 光**  
(ナカムラ ヒカル)

- ①生命医科学部
- ②准教授
- ③化学 I-II



**三田 雄一郎**  
(ミタ ユウイチロウ)

- ①生命医科学部
- ②准教授
- ③生化学



**Marco SCHULZE**  
(マルコ シュルツェ)

- ①グローバル地域文化学部
- ②助教
- ③ドイツ語インテングI



**殷 晴**  
(イン セイ)

- ①グローバル地域文化学部
- ②助教
- ③グローバル地域文化入門セミナー



**David Perrie MCCURRACH**  
(デイビッド ペリー マカラク)

- ①グローバル地域文化学部
- ②准教授
- ③Global and Regional Cultural Studies Seminar 3



**張 素娟**  
(チョウ ソケン)

- ①グローバル地域文化学部
- ②准教授
- ③中国語インテングI



**清水 達也**  
(シミス タツヤ)

- ①グローバル地域文化学部
- ②教授
- ③グローバル地域文化発展セミナーI



**IQBALL Arif**  
(イクバル アリフ)

- ①ビジネス研究科
- ②教授
- ③Strategic Management



**小林 渉**  
(コバヤシ ワタル)

- ①司法研究科
- ②特別客員教授
- ③経済法I



**BABAGANA Adamu Waziri**  
(ババガナ アダム ワジリ)

- ①グローバル・スタディーズ研究科
- ②助手



**PAREPA Laura-Anca**  
(パレパ ラウラ アンカ)

- ①グローバル・スタディーズ研究科
- ②准教授
- ③グローバル政治経済



**Zachary NANBU**  
(ザッカリー ナンブ)

- ①グローバル地域文化学部
- ②助教
- ③Global and Regional Cultural Studies Seminar 2



**三上 聡太**  
(ミカミ ソウタ)

- ①国際教養教育院
- ②助教
- ③アカデミック・リーディングBIX



**篠田 雅人**  
(シノダ マサト)

- ①学習支援・教育開発センター
- ②助教



**西 千尋**  
(ニシ チヒロ)

- ①学習支援・教育開発センター
- ②助教



**李 元重**  
(リ ウォンジュン)

- ①キリスト教文化センター
- ②准教授
- ③旧約聖書とキリスト教



**延岡 健太郎**  
(ノベオカ ケンタロウ)

- ①ビジネス研究科
- ②特別客員教授
- ③MOT概論



**大西 有子**  
(オオニシ ユウコ)

- ①高等研究教育院
- ②准教授
- ③On-site Group Work



**上浦 基**  
(カミウラ モト)

- ①高等研究教育院
- ②教授
- ③プログラミング入門



**宮野 里菜子**  
(ミヤノ リナコ)

- ①研究開発推進機構
- ②特定任用研究員A (助教)



**李 銳祥**  
(リ エイショウ)

- ①研究開発推進機構
- ②特定任用研究員A (助教)



**吉川 夏渚子**  
(ヨシカワ カナコ)

- ①国際教養教育院
- ②助教
- ③オーラル・コミュニケーションAⅡ

- キリスト教文化センター
- 越川 弘英教授
- 文学部
- 清瀬 みさを教授
- 西岡 直樹教授
- 源 健一郎教授
- 土肥 歩助教
- 社会学部
- 富田 安信教授
- 法学部
- 鈴木 絢女教授
- 後藤 倫子助教
- 村瀬 健太助教
- 林 秀鳳助手
- 法学研究科
- 落合 仁司教授
- 田中 靖人教授
- 商学部
- 佐藤 誠二教授
- 麻生 潤准教授
- 陳 燕双助教
- 亀井 大樹助教
- 北村 友宏助教
- 國枝 陽輔助教
- 猿田 冬樹助教
- 政策学部
- オフェルフェルドマン教授
- 大和田 順子教授
- 小阪 真也助教
- 三上 真嗣助教
- 滝本 香葉子助手
- 総合政策科学研究科
- 王 嬌助手
- 文化情報学部
- 田中 雄助教
- 理工学部
- 青山 米教授
- 林田 明教授
- 川口 周教授
- 長岡 直人教授
- 辻 幹男教授
- 和 田 元教授
- 加 堂 大輔准教授
- 理工学部実験習センター
- 大西 慶一郎実験講師
- 生命医科学部
- 高柳 真司助教
- 渡辺 政隆特別客員教授
- スポーツ健康科学部
- 土屋 吉史助教
- 心理学部
- 津田 菜摘助教
- グローバル
- コミュニケーション学部
- 松本 啓子教授
- グローバル地域文化学部
- 竹内 理輝准教授
- 立林 良准教授
- グローバル
- スタディーズ研究科
- 安 昭炫助手
- 司法研究科
- 佐伯 祐二教授
- 佐々木 典子教授
- 笠原 宏特別客員教授
- ビジネス研究科
- 加登 豊教授
- Philippe B.YOSIERRE 教授
- 河南 順教授
- 学習支援教育開発センター
- 澤 宏司准教授
- 研究開発推進機構
- 板倉 昭二専任フェロー
- 左近 透教授
- 城所 比奈子助教
- 松原 耕平助教
- 米村 洋而助教
- 中村 俊幸 学術研究員
- 廣光 佑哉助手
- 西川 和樹助手
- 高橋 侑里助手
- 平光 佑助手
- 和 田 昌也助手
- 佐野 和子 特別研究員A

**退職教員**

2024年3月31日付で、  
次の先生方が退職されました。



2024, April

# 〔ゼミで学ぶ 魅力を語る〕

幅広い領域の専攻から数多くのゼミがある本学。

それぞれ、どんなことを学んでいるのか。

ゼミ教員が、個性豊かなゼミの魅力を語ります。

## 日本の多文化共生を 留学生の視点で考える



グローバル・コミュニケーション学部  
日本語コース  
教授

すずき のぶこ  
鈴木 伸子 ゼミ

Nobuko Suzuki

### ゼミ生の声

私のゼミでは、日本語コースで学ぶ留学生が、グローバル化した日本社会の課題やさまざまな異文化接触について、彼ら自身の視点を活かしながら探究しています。3年次は、文献講読の後、各自の研究計画をつくり、4年次にはデータ収集と分析を経て卒業論文を完成させます。過去のテーマには「大卒ベトナム人女性と日本企業のジェンダー問題」「ミャンマー人技術研修生の異文化適応」「滞日ベトナム人児童の母語発達」「日本と海外の日仏ハーフの日本人意識」比較」等があります。

「大学の授業では受け身の学習になりがちですが、互いに質問し合い、答える練習ができます」「ジェンダー問題とステレオタイプや差別問題について全く知らなかった私でしたが、最近では自分の意見を言えるようになりました。今後は自律力と時間管理能力も身に付け、日本で活躍できる社会人になりたいです」「出身国の異なるクラスメイトの観点からも比較分析を行うことができ、新たな知識が得られます」「すべての出来事に『問い』をもって近づく力が得られました」「私はこのゼミに参加することで、日本社会に潜む問題に敏感になると同時に、具体的な実現可能な提案を導き出す力を身に付けたいと考えています。鈴木ゼミはそういった志を持つ学生たちが集まり、切磋琢磨しながら成長する場でもあります」

ゼミ生の大半は日本での就職を希望するため、社会人として必要な多角的な視点（論理的な思考に基づく発言能力）の指導にも注力しています。

## 大きな問いを事例に落とし込む



グローバル地域文化学部  
准教授

しばた のぶこ  
柴田 修子 ゼミ

Nobuko Shibata

私の専門はラテンアメリカ地域研究で、主に同地域の社会運動、移民問題を研究しています。私たちの学部は現代の諸問題について学際的なアプローチで考察することを特徴としており、貧困や移民／難民問題などグローバルな課題に関心を持つ学生が集まっています。しかし社会をよりよくしたいという善意や漠然とした問題意識のままでは、論文を書くことができません。私のゼミでは、大きな問いをいかに具体的な事例に落とし込むかに力を注いでいます。たとえば女性への暴力の抑止に関心がある学生は、フェミニサイド（女性を標的とした殺人）に対抗するアルセンチンの Ni Una Menos 運動を取り上げ、この運動がどのようなフレミングによって人々の支持を集めたのかをまとめました。またSDGsに関心を持ち、古着輸出が輸入国に与える弊害を研究した学生もいます。

ゼミではそれぞれの関心に沿った事例を見つけ出すように指導しています。現代の事例を扱うには、現地の新聞を参照するなどの高い語学力が欠かせません。そのため学部の授業では、卒業執筆に向けて地域文化研究の文献を原語で読み込む指導も行っています。なかには読み込むだけでは飽き足らず、スペイン語で卒業論文を執筆した学生もいます。こうした学びを糧として、ゼミの皆さんには人生における大きな問いと小さな実践の往還を大切に歩んでほしいと願っています。

### ゼミ生の声

ゼミでは留学から帰国した先輩たちと一緒に学ぶので、いろいろな視点から刺激をもらえて面白いです。

# learning objects of Seminars



政策学部  
教授

あだち みつお  
足立 光生 ゼミ

Mitsuo Adachi

## 「投資」「市場」「企業」の基礎を学ぼう

政策学部・足立ゼミは「投資」「市場」「企業」について基礎から学びを深めることで、現代ビジネスの世界を「投資家視点」で探索していきます。こうした勉強は多くの学生さんにとってあまり馴染みのないものと思われれます。そこで、足立ゼミでは、仲間とともに企業や施設で現場の人々のお話を聞きながら、あるいは誰もが親しめる実践的な教材を使いながら、ゆっくりと、楽しく、和気あいあいと勉強に取り組んでいきます。はじめの内容だからこそ、むずかしい顔をして一人で取り組むのではなく、肩の力を抜いて、笑顔で、仲間と助け合いながら取り組んでいけるよう応援しています。仲間とともに培った勉強成果については、積極的に学外コンテストで力試しをしてみます（たとえば足立ゼミ生がコンテストで全国ノトップに立った事例として、2020年12月の日銀グランプリ

での最優秀賞、2022年2月のキャンパスベンチャーグランプリ全国大会での経済産業大臣賞・ビジネス大賞、2024年1月のキャリアゲートウェイ2023「ビジネスコンテスト」での最優秀賞が挙げられます。目標に向けて一緒に頑張った「仲間との絆」は将来にわたる財産となるでしょう。足立ゼミでは「ゼミのともだちは一生のともだち」を合言葉に、ゼミ生が卒業後にも縦のつながり、横のつながりを維持していくことも目指しています。

## ゼミ生の声 (小林 桃華さん) (外村 宗太さん)

一生の友達とお互いを高めあえる最高のゼミです。この1年間で大きく成長をすることができたのは、足立ゼミのおかげです。今後も「ゼミのともだちは一生のともだち」をモットーに最後まで走り抜きます！



文化情報学部  
准教授

なかやす まり  
中安 真理 ゼミ

Mari Nakayasu

## 新たな知見を得るよろこび

私が所属する文化情報学部は、文系・理系いずれの学生も受け入れており、学生のレイダインスは二様ではありません。その前提に立って、主催するゼミ「芸術史研究室」では有形の文化財を幅広く対象として、学生が各自の興味・関心に従って決めた研究テーマと研究目的に対し、それを果たすための指導とサポートをしています。過去の卒業研究のテーマには、古代から近現代にかけての日本や中国の様々な美術作品や史跡などがあります。

また、文化情報学部では文理融合を教学理念としており、私のゼミでも研究テーマへの理系的なアプローチを推奨しています。たとえば、統計学的手法を用いてマクロ的な視点を導くことにより、従来のように特定の作品を深く掘り下げるだけでは見えてこなかった、歴史的あるいは同時代的

なる種の傾向が明らかになる可能性があります。ただし、そうした取り組みは、私が専門の一つとする美術史学の分野ではほとんど行われてこなかったもので、着任以来、新たな試みが続いています。

ゼミ生諸君には、高い自主性をもって、一つの物事に真摯にあたることを学び、研究を通じて新たな知見を得るよろこびを知ってほしいと思います。

## ゼミ生の声

先生の指導のもと自らのテーマを深く追究し、知的好奇心旺盛な仲間と共に、分野を横断するさまざまな研究テーマについての忌憚なき議論を通じて、新たなフロンティアに足を踏み入れることができるゼミです。



2024 April

# 本学教員の 執筆図書紹介

(価格は税込み)

## 情報デザインと

### コミュニケーション

土屋誠司 編 創元社 2,750円

## コンピュータとプログラミング

土屋誠司 編 創元社 2,750円

## トルコ

内藤正典 著 岩波書店 1,100円

## 若返りホルモン

米井嘉一 著 集英社 1,056円

## 図書館情報学事典

佐藤翔 原田隆史 他著  
丸善出版 22,000円

## 民法4 債権総論 第2版

荻野奈緒 他著 有斐閣 2,970円

## 分断を乗り越えるための イスラム入門

内藤正典 著 幻冬舎 1,034円

## 無機固体化学

加藤将樹 他著 内田老鶴圃 4,400円

## 民法6 事務管理・不当利得・ 不法行為

佐久間毅 他著 有斐閣 2,860円

## スポーツ指導者に 必要な生理学と

### 運動生理学の知識 改訂2版

井澤鉄也 他著 市村出版 3,520円

## コロナ禍と中小企業研究

関智宏 他著 同友館 3,080円

## 現代ロシア政治

立石洋子 富樫耕介 他著  
法律文化社 2,970円

## リーガル・ラディカリズム

吉田徹 他著 有斐閣 5,280円

## 財務会計のファンダメンタルズ

山本達司 著 中央経済社 4,180円

## 商品開発・管理の挑戦

富田健司 他編著 晃洋書房 3,960円

## 点検 習近平政権

巖善平 他著 文眞堂 3,520円

## 知的財産法政策学の旅

山根崇邦 他編著 山根崇邦 他訳  
弘文堂 15,400円

## ロベール・ルパージュとケベック

神崎舞 著 彩流社 4,400円

## 注釈労働基準法・労働契約法 第2巻

村中孝史 他編 坂井岳夫 土田道夫 他著  
有斐閣 6,600円

## 民主主義の危機

吉田徹 他訳 白水社 2,640円

## オープンサイエンスに まつわる論点

佐藤翔 他著 樹村房 2,640円

## 中央ユーラシア文化事典

富樫耕介 他著 丸善出版 24,200円

## 比べてわかる心の発達

板倉昭二 編 板倉昭二 他著  
有斐閣 3,080円

## 中田 薫

北康宏 著 吉川弘文館 2,640円

## Handbook of Higher Education in Japan

GREGORY POOLE  
山田礼子 他著 Japan Documents

## 冷戦と脱植民地化 I

峯陽一 他著 岩波書店 3,520円

## 〈戦い〉と〈トラウマ〉の アニメ表象史

佐野明子 他著 日本評論社 2,200円

## Z世代のアメリカ

三牧聖子 著 NHK出版 1,023円

## 南海トラフ地震に備える 政策研究

立木茂雄 他著  
ひょうご震災記念21世紀研究機構  
研究戦略センター研究調査部

## Occupy Tokyo

ANNE GONON 他著 Brill

## 教育哲学事典

小野文生 他編著  
伊藤玄吾 奥井遼 他著  
丸善出版 24,200円

## アメリカ文学と大統領

白川恵子 他著 南雲堂 6,380円

## イギリス湖水地方における アーツ・アンド・クラフツ運動

臼井雅美 著 英宝社 3,080円

## ポストリチウムイオン 二次電池開発

盛満正嗣 他著  
エヌ・ディー・エス 59,400円

## 公益事業の再構築

北村友宏 他著  
関西学院大学出版会 1,430円

## 面白くて刺激的な 論文のための

### リサーチ・クエスションの 作り方と育て方

佐藤郁哉 訳 白桃書房 3,000円

## 万葉植物の歌 鑑賞事典

垣見修司 他著 和泉書院 4,400円

## イギリス文化入門 新版

下楠昌哉 他編著 三修社 3,850円

## アメリカ文化入門 新版

下楠昌哉 他編著 倉科一希 他著  
三修社 3,850円

## トピックからわかる 国際政治の基礎知識

大矢根聡 他著 芦書房 2,970円

## 論点・ジェンダー史学

石井香江 他著 ミネルヴァ書房 3,520円

## 注釈労働基準法・ 労働契約法 第1巻

村中孝史 他編 有斐閣 8,800円

## 認知意味論を目指して I

菊田千春 他監訳 菊田千春 他訳  
開拓社 4,620円

## 日本の人事労務研究

藤本昌代 田中秀樹 他著  
中央経済社 3,960円

## ジェンダー×小説 ガイドブック

笹尾佳代 他著 ひつじ書房 2,420円

## 情報社会と情報技術

土屋誠司 編著 創元社 2,750円

## アンチエイジング医学の 基礎と臨床 第4版

米井嘉一 市川寛 石井好二郎 他著  
メジカルビュー社 8,800円

## 生きた労働への闘い

増淵あさ子 他訳 富山一郎 解説  
法政大学出版局 3,960円

## 平和学事典

秋林こずえ 岡野八代 倉科一希  
小阪真也 和田喜彦 他著  
丸善出版 26,400円

## イスラーム世界と平和

中西久枝 著 創元社 2,640円

## 「巨人」の場

トボス  
勝又悦子 編 勝又悦子 大沼由布 他著  
LITHON

## 臨床心理学スタンダード テキスト

武藤崇 他著 金剛出版 16,500円

## 地方史誌から世界史へ

森山央朗 向正樹 他著  
勉誠社 8,800円

## 香道籬之菊

福田智子 他編著 岩坪健 他著  
風間書房 4,180円

## 曲がり角の向こう

平光佑 他著 萌書房 2,640円

## Political Debasing

OFER FELDMAN 編  
OFER FELDMAN 他著 Springer

## Debasing Political Rhetoric

OFER FELDMAN 編  
OFER FELDMAN 他著 Springer

## ガールズ・アーバン・スタディーズ

樹田竜蔵 他著 法律文化社 3,300円

## 昭和歌謡と人文学の季節

井口真 著 ナカニシヤ出版 2,640円

## サニテーションが生み出す 物質的・経済的価値

赤尾聡史 他著  
北海道大学出版会 3,850円

## 愛の労働あるいは 依存とケアの正義論 新装版

岡野八代 他監訳 白澤社 4,290円

## <日常>のなかの近世

西岡直樹 著 清文堂出版 12,100円

## 条解 著作権法

井関涼子 他著 弘文堂 16,500円

# アンケートご協力をお願い



2024 April

私たち「同志社バーチャルキャンパスプロジェクトD-verse」は「過去から未来のキャンパスをVR空間で再現し、世代を超えて交流できる空間を構築すること」を目的に、2022年度から活動しているプロジェクトチームで、同志社大学・同志社女子大学・同志社国際高校の学生・生徒で構成されたメンバーが、日々精力的に活動しております。こちらの取り組みは学校法人同志社創立150周年事業の一環としても寄与しており、在学生、教職員、OG・OBの皆様を中心に様々な立場の方が交流を促進できるような空間創りを実現していきたいと考えております。

そこで、本プロジェクトの活動について広く認知していただき、私たちが制作しているバーチャルキャンパスに皆様の同志社にまつわるエピソードや写真を繋げていけるよう、アンケート調査を実施するはこびとなりました。

つきましては、お忙しいところ大変恐れ入りますが、アンケート調査に何卒ご協力いただきますようよろしくお願い致します。

## 同志社ローム記念館プロジェクト 同志社バーチャルキャンパス プロジェクト D-verse

### 1. 同志社バーチャルキャンパスプロジェクト D-verseに関するアンケート

#### 概要

同志社バーチャルキャンパスプロジェクトD-verse及びバーチャルキャンパスについて皆様からアイデアをいただきたく存じます。このアンケートは全て匿名で収集され、統計的処理を行った上で同志社バーチャルキャンパスプロジェクトD-verseに係る活動にのみ使用致します。

#### 回答先

下記のURL、又は右記の二次元コードからご協力いただけますと幸いです。

**URL** <https://forms.office.com/r/j4QYYdaYGH>



### 2. あなたの思い出教えてください ～同志社バーチャルキャンパスプロジェクトD-verse～

#### 概要

同志社の建物にまつわる思い出の写真や動画、エピソードをバーチャルキャンパスで公開してみませんか？ 本アンケート回答において記録された個人情報につきましては、学校法人同志社の個人情報保護方針に基づき厳正に処理致します。なお、今回はデジタルデータのみを受け付けさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願い致します。

#### 回答先

下記のURL、又は右記の二次元コードからご協力いただけますと幸いです。

**URL** <https://forms.gle/zXppbMN7WJDEUzNNA>



本件に関する  
お問い合わせ先

同志社ローム記念館  
事務室

**TEL**  
0774-65-7800  
(平日9:00～11:30/12:30～17:00)

**E-mail**  
jt-rohm@mail.doshisha.ac.jp

D-verse  
Webサイト



# 同志社校友会

Doshisha  
Alumni  
Association



INFORMATION

6

2024 April

同志社校友会事務局 TEL : 075-251-4393 E-mail : info00@doshisha-alumni.org

同志社設立10年後の1885年に「アルムニ会」として発足したのが、同志社校友会の始まりです。主な目的は、卒業生の親睦と大学との連携を通じた学生の支援です。現在、約36万人の会員となり、国内はもとより、各国に支部があります。

## 学生の食生活をサポート

同志社校友会は、学生支援の一環として食支援を毎年、実施しております。

2023年度は、学生の皆さんが健康に過ごせることを目的として、栄養バランスを意識した食習慣の一助とするために小鉢の提供をしてきました。12月半ばから支援を開始し、約28,000食を提供。支援を受けた皆さんから、高い評価を得ることができました。2024年度も食支援を実施しますが、費用と効果を考えながら、よりよい内容へと変えていくべく、現在、検討をしています。

今後も学生の皆さんが有意義な学生生活を送れるよう卒業生の立場から応援をしていきたいと思っております。



## 同志社校友会の活動

### ① 卒業生とつながる

2024年4月現在、国内に48の支部、海外に36の支部が存在し、卒業生に対して、現地の校友会がサポートをしています。

### ② 大学とつながる

同志社大学が掲げるリーダー養成、グローバル化への支援、「同志社大学2025 ALL DOSHISHA 募金」の推進など大学と連携した活動を行っています。

### ③ 学生を支える

「同志社校友会奨学金」、「同志社スポーツ奨学金」、海外留学生支援として「グローバル人材育成奨学金」など各種給付型の奨学金制度を通じて教育と学生生活の充実がはかれるサポートを行っています。

詳しくは  
同志社校友会  
HPへ



卒業後2年間にわたり大学広報誌「ONE PURPOSE」をお届けしていましたが、本誌4月号をもって郵送サービスが終了となります。引き続きの紙媒体での送付を希望される場合は、継続送付手続きをお願いいたします。

手続きは「同志社大学卒業生ネットワークDOOネット」からお申し込みください。



### 対象の方

【2021年度卒業生】  
2021年9月～2022年3月卒業の方

### 継続送付手続き方法

まずは同志社大学卒業生ネットワークDOOネットにアクセス

DOOネットについては  
右記からご確認ください。



#### 既にDOOネット会員の場合

- 1 DOOネットにログイン
- 2 「登録情報変更」
- 3 「その他情報修正」内  
ONE PURPOSE送付有無を  
「必要」にする。

※転居された場合は「住所情報」の変更をお願いします。

#### DOOネット会員未登録の場合

- 1 まずはDOOネットに  
新規登録
- 2 「基本情報入力」  
ONE PURPOSE送付有無  
を「必要」にする。



本学ホームページにONE PURPOSEデジタル版を掲載しております。  
My Purpose動画、バックナンバーもご覧いただけますのでぜひご利用ください。



2021年度卒業生の皆様へ  
大学広報誌  
「ONE PURPOSE」  
継続送付希望手続きのご案内です。

# 同志社人 訪問



結成以来、「M-1グランプリ」や「キングオブコント」を沸かせ、テレビやラジオに数多くのレギュラーを抱えるお笑いコンビ・さらば青春の光。ボケを担当する東ブクロさん、構成作家としてネタづくりを支える渡辺佑欣さんとともに、関西有数のお笑いサークル・同志社大学喜劇研究会の出身です。きらりと光るその個性はどのように形づくられたのか、喜劇研究会の現役会長が聞きました。



今回の同志社人

さらば青春の光

ひがし

東ブクロさん

1985年、大阪府生まれ。本名、東口宜隆。同志社大学文学部社会学科産業関係学専攻卒業。在学中は喜劇研究会に所属していた。2008年に森田哲矢と結成したお笑いコンビ・さらば青春の光ではボケを担当し、名だたる賞レースで好成績を収めている。

今回の同志社人

政策学部 3年次生 ※学年は取材時の学年

さくらい

はやた

櫻井 速也太さん

岡山県出身。さらば青春の光に憧れて喜劇研究会に入部し、現在は会長として総勢80名もの部員を率いる。将来の夢はテレビマンとしてエンターテインメント業界に関わること。お笑いはもちろんのこと、アイドルにも造詣が深い。

今回の同志社人

構成作家

わたなべ

ゆうき

渡辺 佑欣さん

1985年、大阪府生まれ。同志社大学文学部社会学科産業関係学専攻卒業。東ブクロさんとは喜劇研究会で出会いを果たして以来の盟友。現在はさらば青春の光のネタづくりに関与する一方で、数々のテレビ番組の構成を手がけるなどマルチな活躍を見せている。

## 養成所さながらの緊張感に 笑いの感覚を磨かれた日々

**櫻井**.. 喜劇研究会の大先輩とこうしてお会いできて、今日は率直にうれしいです！ 最近はさらばさんの活躍を見て入部する学生も多くなって、僕もそのうちの1人です。

**東ブクロ**.. いや、絶対カズレーザ(マイプル超合金)やろ。

**櫻井**.. いやいや、そんなことないです(笑)。ところで、お2人はどんなきっかけで同志社に入社されたんですか？

**東ブクロ**.. 俺はとにかく高校時代からお笑いがやりたかったんやけど、親が「絶対に大学だけは出ておけ」って。それで関関同立を受験したら、なぜか受かったっていう。

**渡辺**.. 僕は同志社と国立大学の両方に合格して迷ったけど、同志社の方が圧倒的に学生数が多い。2万人との出会いを求めて同志社を選びました。当時の喜劇研究会はプロ志望者も多くて。東口は僕の1学年下にあたるんやけど、先輩からめちゃくちゃかわいがられてたよな。

**東ブクロ**.. なべちゃんは特にそう。同級生になじめなかったのか、すごく寄り添ってくれて(笑)

**渡辺**.. 実際、2万人は多すぎたな。その規模に面食らって居場所を見つけれずにいた

だけに、研究会の存在は大きかった。同期にはカズレーザがいたけど、そのころから目置かれる存在でしたね。

**櫻井**.. 東ブクロさんは学生時代、カズレーザさんとコンビで活動して



いたんですよ？

**東ブクロ**.. そうそう、最初は全身真っ赤で金髪のビジュアルにビビったんやけどね。入部後はお互い別のコンビで活動してたんやけど、同時期に解散して。それで一緒にやろかとなった。

**渡辺**.. 2人のライブはめちゃくちゃ受けてたよ。ただ、研究会ってネタ見せの段階でかなりシビアなところがあって、その雰囲気をつくっていたのもカズレーザやっただね。そういう僕も学内に腹を割って話せる仲間を見つけて、講評用紙には本音ばかり書いてたんやけど。

**東ブクロ**.. なべちゃん、かなり辛辣なこと書いてたと思うけど、とにかくそんな環境やから、いかに難しい言葉を多用して「お笑い分かっています感」を出せるかみたいなことばかり考えていた。半ば養成所みたいな側面はあったと思うわ。

**櫻井**.. ネタ見せの緊張感、ヒリヒリした空気は当時も今も変わらないですね……！

## 就職活動に励む友人を横目に やりたいことを突き詰める

**櫻井**.. ところで先日、早稲田大学の寄席演芸研究会と合同ライブをしたんですが、お2人のころも他大学との交流はあったんですか？

**東ブクロ**.. 早稲田とは4つ上の先輩が「交換留学」して以来の付き合いやね。そこから年1回のペースでお互いに行き来し

て、同志社EVEで合同ライブもするようになって。ただ、その期間はホスト側が食事から観光まで全部もてなすから、金銭的にはかなりしんどかった。

**櫻井**.. そのしきたりは今も変わらないです(笑)

**渡辺**.. 大阪出身で吉本ばかり見てた身からすると、標準語のお笑いは新鮮やったな。それに東京はお笑いサークルの数が多くて、関西に比べてインカレ的な要素が強い。そこにコネクションをつくれたのは放送作家として食べていくうえで大きかったと思います。テレビ業界に進む友達もできたし。研究会に入ってたから、人生終わってたかもしれへん。

**櫻井**.. そういえば、お2人も一般的な就職活動を経ずに現在に至っていますよね。どうやって道を切り拓いたんですか？

**東ブクロ**.. 俺は研究会に所属しながら松竹の養成所にも籍を置いていて。なべちゃんも放送作家の養成講座に通っていたよな。

**渡辺**.. 大阪の大御所にみっちり指導を受けていました。東口とは同じ社会学科でゼミも一緒。周囲が就職活動を本格化させるのを横目に、お互いそわそわしていたところで作家業が視野に入ってきた感じです。で、そのまま就職せずにフリーターに。結果的に東口には感謝してるけど、卒業後しばらくは就職課(現…





キャリアセンター)から年2回くらい電話があった(笑)

**東ブクロ**..さらば青春の光を結成したのはちょうどそのころで、芸を見たなべちゃんが「おもしろいやん」と。そこからやね、なべちゃんが俺らのネタを担当するようになったのは。

**櫻井**..卒業してからも交流を続けたからこそ「M-1グランプリ」や「キングオブコント」で好成績を収めるまでになったわけですね。

**渡辺**..やっぱりストレートに就職していない者同士って、お互いの動向が気になるもんで。東口のこと「あいつ、どうしてるやろな」と気にかけてたからね。

**東ブクロ**..一流企業に進んだり、官僚になったりするやつがあるくらいやからな。同志社まで行かせてもらっている以上、親のプレッシャーと夢との間で悩む人も多いやろね。

**櫻井**..研究会の先輩でも似たルートを歩んでいる人がいます。

**渡辺**..研究会が人生狂わせてるね(笑)

**東ブクロ**..そやな(笑)

## 同志社で築いたつながりは これからの人生に必ず活きる

**渡辺**..で、櫻井くんは自分の将来についてどう考えてんの？

**櫻井**..まさに就職活動の真っ最中なんですけど、キー局でエンターテインメントに関わるのが夢で。面接でもお笑い好きを前面に押し出しています。

**東ブクロ**..明確な目標があるんやったら、がんばって卒業するしかないで。

**渡辺**..新人ディレクターの苦労は何度も目にしているから複雑な感情はあるけど、好きなことがはっきりしている方が絶対に伸びると思う。そこは包み隠さずアピールしてほしいね。

**櫻井**..がんばります！ それでは最後に、喜劇研究会や現役の

学生に向けてメッセージをお願いしますか？

**東ブクロ**..学生時代が一番自由に楽しい時間だったなと。将来のことも考えつつ、一生のつながりを持てる仲間をつくってほしいです。

**渡辺**..確かに、同志社で出会った友達とはいまでも一番連絡を取り合っている。どういう進路を選ぶにせよ、人生がどう転ぶかという土壇場で会う人たちは、意識せずとも付き合いは濃くなるんだと思います。だから、4年間でできるつながりは大切にしてほしい。

**東ブクロ**..そう考えると本当に感謝しかないね。いざ芸人としてデビューしてみると、業界に同志社出身がいかに多いか、いかに目をかけてくれているかがよく分かる。これはたぶん、お笑いの世界に限った話ではないと思います。櫻井くんはしっかり夢をかなえて、その暁には俺らを使ってください(笑)

**櫻井**..お2人の関係性が縁そのものですね。僕もつながりを大切にがんばろうと思います。今日はありがとうございました！

## 取材を終えて

Interviewer

櫻井 速也 太さん



今回は貴重な経験をありがとうございました。自分たちが大切にしてきた部分は、昔から先輩方が大切に引き継いで培ってきたものだというのを知ることができました。自分も東ブクロさんや渡辺さんなど卒業されたいった先輩方が大切にされてきた喜劇研究会を、後輩たちへ大切に引き継いでいこうと思えました。また、この取材をきっかけに多くの新入生が入会してくれると嬉しいですね。

# My Purpose 挑戦する人

おぐら さな  
小倉 紗奈さん  
スポーツ健康科学部  
スポーツ健康科学科  
1年次生  
※学年は取材時の学年

奈良県出身。小学3年生のときにスポーツクライミングに出会う。2023年第9回ボルダージュス日本選手権倉吉大会優勝。好きな種目は到達地点を競う「リード」。

インタビュー動画も  
チェック



## 動作の「引き出し」を常にアップデートするためにの努力

打ち付けられたカラフルな突起物（ホールド）を頼りに、反り立つ人

工壁を体ひとつで登る「スポーツクライミング」。速さを競う「スピード」とコースの完登数を競う「ボルダリング」、到達地点を競う「リード」の3種目から成る。クライミング文化を育んできたヨーロッパ諸国がこれまでけん引してきたが、近年日本

勢の活躍がめざましい。特に「ボルダリング」は、コロナ禍で中止となつた2020年を除き、9年連続国別ランキング1位。ユース年代から実力者がひしめき合っていて層が厚いと定評がある。その激しい競争の中で、ユース強化選手として期待され

ているのがスポーツ健康科学科1年次生、小倉紗奈さんだ。

小倉さんがスポーツクライミングに出会ったのは10年前。今ほどメジャーではなかったカラフルな人工壁が珍しく、家族で体験したのがきっかけだ。「小学3年生だったので体が軽く、スイスイと登れました。このときの達成感、高揚感は忘れられません」。この1回の体験ですっかり虜になってしまった。その後はクライミング漬けの日々。12歳から競技会に出場してキャリアを積み、ついに昨年、ボルダージュス日本選手権で優勝をつかみ取った。

「スポーツクライミング」、特に「ボルダリング」は体の重心の置き方や筋肉の動かし方、ホールドのつかみ方など、条件ごとに変わる動作の蓄積が鍵だ。小倉さんはそれらを「引き出し」と表現し、難関の一手に直面するときのためにアップデートとバリエーションの拡大を心掛けている。そこで重要なのが「トライアンドエラー」だ。

「引き出し」は実際に登ってコミュニケーションしなければ増えません。登って動きの問題点を見だし修正する、この繰り返しです。そして

の「引き出し」を用いて登るか、判断力と瞬発力を「緒に高めなくてはなりません」。「挑戦」と「失敗」そして「修正」、この地道な反復により、研ぎ澄まされたクライミングへと進化させるのだ。

小倉さんに今後の目標を尋ねると、「シニアの日本代表になり、世界選手権に出ること」と明瞭な答えが返ってきた。それから「将来の目標」と前置きして「より多くの人にクライミングのよさを知ってもらう活動をしたい。クライミング文化を日本に根付かせたいです」。大学でスポーツマネジメントを学んでいるのもその一環。競技者として経験を積んでいる自分ならではのアプローチを見つけたと力強く語る。きつと小倉さんのしなやかでダイナミックなクライミングのように目標に向かって進むのだろう。その陰で「引き出し」を増やすような地道な反復を重ねながら、一步一步着実に。



パフォーマンスを  
研ぎ澄ますための  
トライアンドエラー



↑ 小学生の頃のボルダリング練習の様子。